

応用物理学会九州支部学術講演会 講演募集要項

1. 投稿資格

登壇者は、非会員でも受け付けます。ただし、次項に述べる発表奨励賞は会員のみを対象とします。

2. 支部発表奨励賞

九州支部主催による学術講演会において、応用物理学の発展に貢献しうる優秀な一般講演論文を発表した若手会員に対し「支部発表奨励賞」を授与しています。

表彰対象者は、応用物理学会会員で、かつ論文の筆頭著者に限ります。(詳細は「支部発表奨励賞」細則規定をご参照下さい。)

応募される方は、電子投稿の申請希望欄の“申請する”を選び、該当箇所を入力して下さい。

3. 予稿原稿 (PDF) 作成要領

講演予稿集は、講演参加者に予め講演の内容を知らせ、あるいは講演を聴けない人にもその概要を知らせる重要なデータベースです。受理された予稿原稿集がそのままの形でオフセット印刷され、講演予稿集が作成されます。以下の要領に従って、予稿集原稿を日本語あるいは英文で作成して下さい。

①原稿フォーマット

A4 サイズ(幅 210mm, 高さ 297mm)で原則1ページとします。

フォーマットの詳細については、支部ホームページの[予稿原稿作成の手引き](http://ohbutu.ed.kyushu-u.ac.jp/conference/tebiki.html) (<http://ohbutu.ed.kyushu-u.ac.jp/conference/tebiki.html>)を参照すると共に、できるだけテンプレート(MS Word)を利用のこと。

②題目

簡潔にして要を得た題目とし、英文を併記すること。

③勤務先 (研究場所)・氏名

共著者全員の氏名と、それぞれの勤務先 (研究場所) が分かるよう記載のこと。勤務先 (研究場所) は略称を用いるなどして簡潔に表現のこと。また、いずれも英文を併記すること。

④本文

講演の要旨 (原著であること) とそれを得るに至ったデータの中で、必要と考えられるものを分かりやすく記入すること。重要な内容に読者が注目出来るよう、優先順位を考慮しながら書くこと。本文が日本文の場合も、図表とその説明文は英文を使用のこと。

⑤PDF 作成の注意

PDF のファイルサイズは 5MB 以下となるようにすること。

PDF ファイルにはセキュリティ設定をかけないこと。

ファイル名は英数字または日本語のみとし、半角カタカナ、スペース、ピリオド、スラッシュ、半角の記号（¥,%,&,”,#,\$）などを含まないこと。

⑥その他の注意

講演予稿集に掲載された予稿の著作権は（公社）応用物理学会九州支部に帰属します。

予稿集原稿および講演申込部分の記載内容に関する責任は著者が負うものとします。

予稿集の発行日は、学会初日です。これが、予稿の公開日となります。特許等出願の際にはご留意下さい。

4. インターネット電子投稿要領

①講演申込み

日本語セッションへの投稿は、WEB ページ (<https://annex.isap.or.jp/kyushu/conf/koen2017.htm>) より行ってください。国際セッションでの発表を希望される方は、英語による申込みページ (https://annex.isap.or.jp/kyushu/conf/koen2017_e.htm) より投稿を行い、該当する Category を選択ください。なお、日本語セッションにて英語での講演を希望される方は申し込みの際に備考欄に「英語講演希望」と記入して下さい。

登録が完了すると、登録番号とパスワードが発行され画面に表示されると共に、登録したメールアドレス宛にメールによる通知が送付されます。

②予稿 PDF 原稿の送付

確認・削除・投稿ページに上記の登録番号とパスワードを用いてログインし、予め作成した予稿原稿を送信のこと。

登録の、確認、削除、修正原稿の再投稿なども当該ページで行うことができます。

※ 注意事項

必ず拡張子（****.PDF または****.pdf）が付いたファイルを送信して下さい。

複数の申込みがある場合でも、それぞれ発行された受付番号に対応するファイルをお送り下さい。